

あなたの町の本屋さん、図書館の方から、山梨にゆかりのある本や、山梨に関係することが登場する本を紹介していただきました。秋の読書週間を機に、ふるさと山梨の魅力を見つめ直してみませんか。



「だたら八つ」
 著作者: 田中 智
 出版社: げんごろう工房

「だたら」は甲州弁で「やたら」。「だたら八つ」は、「とにかくたくさんのハケ岳」に関する情報誌です。子供は虫の生態に歓喜し、大人はハケ岳の懐の深い自然や文化に感嘆します。出版している「げんちゃん」こと田中智さんは横浜から高根町に移り住み、植生の研究をしながら自然ガイドを務め、御自身の目で見て歩いてこの本を作っています。

あなたの町の本屋さんから
 北杜市 清文堂書店



「里見八犬伝」
 (21世紀版少年少女古典文学館第21巻 他)
 著作者: 栗本 薫
 出版社: 講談社

江戸時代を代表するお話です。八つ玉と牡丹のあざを持つ犬士達の姿に心を躍らせました。主人公の犬塚信乃が「巨摩穴山」でかつての思い人と瓜二つの浜路に出会います。たくさんのお会いと別れが生まれる物語中でも、重要な場面の一つです。蘆崎にお越しの際は、「この辺りかな」と想像を膨らませてください。

※これは全訳版ではありませんが、「里見八犬伝」をお楽しみください。

蘆崎市立大村記念図書館
 司書 日向智恵



シリーズ「紙碑一本の周辺」
「坂本篤 艶本狂詩曲」
 著作者: 備仲臣道
 出版社: 皓星社

出版社を起こした山梨県人、実は結構います。中でも個性的なのが坂本書店の坂本篤。博物学者・南方熊楠の著書を日本で初刊行した快挙。不当に貶められる江戸の風俗小説に文化的価値を見出し、お上に睨まれても志をつらめいた熱血漢。書物の仕上がりにこだわる姿勢にも共感。本にいのちを懸けた男の本、是非一読を!

あなたの町の本屋さんから
 甲斐市 教島書房
 一條宣好



「花の鎖」
 著作者: 湊 かなえ
 出版社: 文藝春秋社

梨花の祖母に、毎年大きな花束を贈る謎の人物「K」。彼(彼女)は一体何者なのか?そして、花束を贈り続ける理由とは。美雪、紗月、そして梨花、3人の女性のドラマが花の鎖でつながり、切なく温かい物語の真実が見えてきます。物語の舞台は架空の町とのことですが、謎に迫る重要な場面面で山梨が登場します。お見逃しなく!

2018ピブリアバトル高校生部門チャンプ本
 県立甲府西高校
 司書 西川奈緒



「新樹の言葉」
 著作者: 太宰 治
 出版社: 新潮文庫

「甲府は盆地である。」冒頭の一文です。太宰が模索していた頃の作品ですが、甲府滞在中に偶然、義弟妹と出会い、文中から僅かな希望が見えてきます。太宰の再生を確認することができます。文中では、桜町や柳町など甲府の旧地名も登場しています。句読点が多く使われているため、文全体がリズムカルで、気持ち良い作品です。

2018贈りたい本大賞学校賞受賞
 中央市立田富中学校
 学校司書 山岸一恵



「茶畑のジャヤ」
 著作者: 中川なをみ
 出版社: 鈴木出版

「富士山」「ぶどう畑」「アルプス」こんな景色を眺めながら物語は始まる。不登校になりそうな周を、祖父はスリランカの旅へと誘う。そこで少女ジャヤと出会い、この国は最近まで内戦状態だったと知る。対立する両側の血を引くジャヤ。その誇りと希望を知り、周は強い気持ちを胸に帰国する。戻る場所はこの地。そう、山梨。

2018贈りたい本大賞金田一秀穂館長賞受賞
 (前)南アルプス市立白根飯野小学校
 司書 長澤麻理 (現)富士川町民図書館)



「志ん生古典落語3 らくだ」
 口演: 古今亭志ん生
 出版社: 弘文出版

「鯉澤」という地名は読みにくく読み方や書き方を聞かれます。この断は身延山にお参りに行く旅人が雪の中で道に迷い、山中一夜の宿を頼みます。懐の小判を見たおかみに毒入り卯酒を飲まされ必死に逃げるといふ落語です。富士川沿いに往来の多かった鯉澤。落語の舞台を巡り「鯉澤」などの断を聞くツアーも行われています。

あなたの町の本屋さんと図書館から
 富士川町上田書店 富士川町立鯉沢中学校
 学校司書 村松富士子

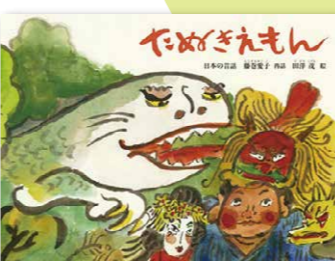
「空を飛んだポチ～杉山亮のものがたりライブ」



作: 杉山 亮 絵: おかべりか
 出版社: 講談社

ハケ岳のふもと、小淵沢は自然が豊かなところ。強い風が吹くとメダカがサンマになったり、空から鯉が降ってきたり…。「え!本当!?!」と思わずにはいられない楽しい出来事がたくさんおこります。「巨大なかぶと虫をつかまえて乗り物にする方法」は読んだらきっとハケ岳に行きたくなるのでは?楽しく読める一冊です。

2019こども読書活動優秀実践校文科大臣表彰受賞
 笛吹市立石和東小学校
 学校司書 日野原麻美



たぬきえもん
 再話: 藤巻愛子
 絵: 田澤 茂
 出版社: 福音館書店

「たぬきえもんは、やくしゃだったちゅうよ」という甲州弁で始まるこのお話。全文が甲州弁で語られています。役者のたぬきえもんは峠に住むわけ物に出会います。うまく化けたら通してやると言われたたぬきえもんは芝居道具のお面を使って様々なものに化け…郷土の言葉を身近に感じることのできる楽しいむかし話です。

甘草屋敷子ども図書館
 司書 加々美汐里



「わたしの山小屋日記 春」
 著作者: 今泉吉晴
 出版社: 論創社

山梨と岩手の山小屋暮らしで自然が教えてくれた知識を探る楽しみ。山梨県東部の山林に建てた山小屋での暮らしで出会った動物や植物、町で出会ったツバメの知恵など、山梨の豊かな自然、それに対する著者の愛情や優しさが伝わってくる。いつも何気なく見ている風景を著者の目線で見ると新たな山梨の魅力を見つめては?

大月市立図書館
 司書 樋川まな美

「戦国武将が愛した名湯・秘湯」



著作者: 岩本 薫
 出版社: マイナビ出版

山梨といえばやはり武田信玄公。その信玄公が愛した温泉が山梨にあることをご存知ですか?こちらの本は戦国武将たちが実際に入り傷や疲れを癒していた温泉を、エピソードと共に紹介しています。信玄公が浸かった温泉も3か所紹介されており、その内2か所は山梨県内の温泉です! 一体どの温泉なのか、ぜひ一読ください。

身延町立図書館
 司書 遠藤紗重



「わがままやすみ」シリーズ
「ストーブのふゆやすみ」
 作: 村上しいこ 絵: 長谷川義史
 出版社: PHP研究所

家族でスキー旅行へ出かける日、家にあるストーブが突然しゃべりだし「ひとりで留守番している。」とみんなを困らせました。でも富士山が見られるなら…と行く気満々になって一緒に出かけることになりました。だれでも一度は見てみたい山。やっぱり富士山は日本一ですね。ユーモアいっぱい、心がほっとあたたかくなるお話です。

2019こども読書活動優秀実践校文科大臣表彰受賞
 山梨市立後屋敷小学校
 学校司書 古屋理江



「肖像彫刻家」
 著作者: 篠田節子
 出版社: 新潮社

装丁にある美しい山々と田園風景がこの小説の舞台です。ワインや馬肉のステーキ、ほうとうなどがでてきて嬉しくなります。「人には、親子孫の縦糸以上に強い同世代の絆がある。血の繋がりで超えられない時間と文化の壁が世代間にはある。」この一文に作者の物語への思いが込められているような気がします。

あなたの町の本屋さんから
 都留市 ブックスステーション
 天野千鶴子

やまなし読書活動促進事業実行委員書店からも
「やまなし」本をお薦めします

朗月堂書店から
「異変街道(上)(下)」 著作者: 松本清張 出版社: 講談社
 ※現在入手が困難になっています。
「太宰治」 著作者: 井伏鱒二 出版社: 中央公論新社

柳正堂書店から
「龍の袖」 著作者: 藤原耕沙子 出版社: 徳間書店
「木葉童子詩経」 著作者: 野澤 一 出版社: コールサク社
「健康で文化的な最低限の生活」 著作者: 斎藤社馬 出版社: KADOKAWA

リブプラスよむよむから
「スーパーカブ」 著作者: トネ・コーケン 出版社: 角川スニーカー文庫

各校の読書活動の取組



後屋敷小学校
 6月実施のにこにこ読書
 上級生が下級生に読み聞かせ



鯉沢中学校
 県立文学館アウトリーチ
 宮沢賢治の展示と授業の様子



田富中学校
 手作りの一斉読書のノート
 3年間使います



甲府西高等学校図書館
 本の福袋